

有機農業で「地球にやさしい男」になる ～農家レストランを通じ有機生産者と消費者をむすぶ～

平成 23 年
就農
有機野菜栽培



霧島山を望む野菜たち

【自己紹介】

- 氏名:「HORI-KEN Farm(ホリケンファーム)」
堀 研二郎さん (36才)
- 所在地:小林市北西方
- 経営状況:所有農地1.8haで人参、小松菜、水菜、キャベツ、大根など約70種の少量多品種の有機野菜を育て、市内の消費者へ宅配し、農家レストランで調理・販売。
- その他:レストラン兼直売所「ベジタブル&リカー「ROJI」(ロジ)経営
※小林市の有機農業生産者グループ「小林オーガニック」の代表

【就農した経緯等】

- ◆小林市の自然環境を次世代に残すため、「環境に関わる仕事がしたい」と東京農業大学へ進学。
- ◆大学で有機農業に可能性を感じ、卒業後、東京の自然食品会社に1年勤務後、野菜農家になることを決心。
- ◆愛知県、岐阜県、長野県の各有機農業者の指導の下で3年間有機農業を実践し、自分や家族が安心できる美味しい野菜作りの重要性を学ぶ。
- ◆平成23年小林市にUターンし、生産者と消費者をつなぐ拠点づくりのため、有機野菜の生産と市内消費者等への直接販売に取り組む。
- ◆令和3年6月、野菜直売所兼レストランをオープン。



令和3年6月にオープンした農家レストランと地元野菜



【活用した支援施策】

- ◆小林市ふるさと起業支援事業

【今後の展望】

- ◆生産面では、動物性堆肥を控え、植物性堆肥の使用を増やしたい。
- ◆小林市内の4軒の有機農業生産者で「小林オーガニック」を結成しており、その生産者が栽培する野菜をレストランの食材として活用しつつ、年間を通じて消費者へ販売していきたい。
- ◆農家レストランで生産者と消費者を結び、語り合えるイベントを開催したい。



堀 研二郎さん